

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和6年 6月10日(月) 発行人：校長 森内 秀学

時津小 最近のトピック4



教師も学んでいます

5月29日(水)は、今年度附属小から時津町教委に着任された、教育指導主事の岩崎隼介先生をお招きし、学級づくりや特別活動についての研修を行いました。対話を通して多様な考えを出し合い、新しい発想を練り上げていくためには、基盤となる学級づくりや、充実した特別活動が欠かせません。岩崎先生のご指導で、今後進化していく時津小職員にご期待ください。



水泳指導、その前に…

水を張ったきれいなプールに入るのは気持ちいいものですが、そうなる前の大事な掃除が、6年生を中心に行われました。高圧洗浄機を持参してお手伝いくださったのは、安心安全メールの運営に協賛くださっているカラオケグランプリ サンマリノの村本さん。おかげでプールはピカピカです。



栄養も知識も吸収しています

食育の充実のために、給食センターから毎月届く「食育ビデオ」。これとは別に、給食の献立を考えてくださっている栄養教諭が、本校にも定期的に来校してくださっています。写真は、そのうちの一人、平山有里子先生。フリップを見せながらのお話は、子どもの心に届く分かりやすいものでした。専門家のお話は、大人もためになります。



気付き考え行動する～JRC 登録更新式

県内で最初に青少年赤十字に加盟し、今年で98年目を迎える時津小。気持ちを新たにすべく体育館で行った登録更新式では、JRC(ジュニア・レッド・クロス)委員会から新しい取組が紹介されました。その名は「リンリン活動」。委員会の子どもが、人のためになる行動をしていた人に向けて鈴を鳴らし、「よい取組だね」と教える活動です。よい行動を自覚化させることで、全校に広がることをねらっています。うまくいくかな？